

事務事業名		衛生自治会運営事業					担当課		(3) 指標の推移															
							市民環境課		環境政策係		活動指標 (実施状況)		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度						
							担当係		単位		(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)								
							予算科目		会計	款	項	目	備考	(実績)										
まちづくりプラン (基本目標)		振興計画体系	2	<生活環境>自然や風土と共生する安心で豊かなまち			予算科目		1	4	1	4		ア	環境学習会実施数	回	75	75	75	75	75	75		
(個別目標)		3	ものを大切にし、自然環境にやさしいまち			主な費目		負担金補助及び交付金					イ	その他衛生自治会補助事業	件	30	30	30	30					
(施策)		3	市民による環境保全・環境美化活動への支援			対象		衛生自治会					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)			
事業期間		平成18年度～ 年度 (年間)													ア	資源ごみ量	t	7,100	7,100	7,100	7,100			
(1) 総事業費の推移		単位		2年度 (実績・決算)		3年度 (実績・決算)		4年度 (実績・決算)		5年度 (計画・予算)		6年度 (計画・予算)		7年度 (計画・予算)		イ	埋立ごみ量	t	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
年間トータルコスト	事業内訳	国庫支出金		千円												有効性評価	(4) 評価							
		県支出金		千円																				
		地方債		千円																				
		その他		千円																				
	一般財源		千円		9,085		9,085		7,000		7,000		7,000											
	事業費計 (A)		千円		9,085		9,085		7,000		7,000		7,000											
	所要人員 (年間)		人		0.300		0.300		0.300		0.300		0.300											
人件費	人件費概算 (B)		千円		1,710		1,710		1,710		1,710		1,710											
	(A) + (B)		千円		10,795		10,795		8,710		8,710		8,710											
(2) 事業概要																								
事業目的		環境衛生思想の普及、公衆・家庭衛生環境の向上改善に努め、市民が健康で快適な衛生的環境の中で生活できるようにすることを目的とする。																						
事業内容		志布志市衛生自治会が実施する事業に対して市として補助を行う事業である。確実なごみ出しを実施するための組織であり、市内の環境美化を図るとともに、市民の環境に対する意識を高めるため、環境学習会の実施やごみステーション整備補助事業などの補助事業の実施。																						
開始経緯		確実なごみ出しを行うために、平成18年4月1日に旧町の衛生自治会が合併し事業を開始した。																						
実施状況		確実なごみ出し、美化活動の充実、地球温暖化防止のためのエコライフの推進を目的に、環境学習会をはじめ、ごみステーション設置補助事業等の各種事業を実施した。また、組織活性化のため3部会を構成し、部会による主体的な取組を実施した。さらに、市内のイベントにおいてオリジナルマイバック作成ブースを設置し、エコバック利用の普及・啓発を行った。																						
成果		令和2年度衛生自治会加入率 65.97% (10,177世帯/15,426世帯) (1) 環境学習会 36件 (457人) (2) ごみステーション整備補助事業 2件 (3) 分別報奨金支給事業 6,999,100円 (4) マイロードクリーン大作戦登録者数 1,108人 (総延長 838.2km)																						
課題		衛生自治会と市の役割を見直す必要がある。																						
		改革改善案		拡充		現状維持		○ 改善		効率化		廃止終了												
		その他衛生自治会補助事業については、一定の効果が得られたので、今後は衛生自治会と市の役割を見直す必要がある。																						

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		ごみ収集運搬・処理事業					担当課		(3) 指標の推移																											
							市民環境課		2年度					3年度		4年度		5年度		6年度		7年度														
							担当係		環境政策係		活動指標（実施状況）		単位		(目標)		(目標)		(目標)		(目標)		(目標)		(目標)											
							予算科目		会計 1		款 4		項 2		目 2		備考		A		資源ごみ収集量		t		7,100		7,100		7,100		7,100					
まちづくりプラン (基本目標)		振興計画 2 <生活環境>自然や風土と共生する安心で豊かなまち					予		1		4		2		2						イ		生ごみ・草木収集量		t		3,840		3,840		3,840		3,840		3,840	
(個別目標)		3 ものを大切にし、自然環境にやさしいまち					主		委託料																											
(施策)		1 「めんどくさいのススメ」と再資源化の推進					対		市民																											
事業期間		平成18年度～ 年度 (年間)																																		
(1) 総事業費の推移		単位		2年度		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度																						
				(実績・決算)		(実績・決算)		(実績・決算)		(計画・予算)		(計画・予算)		(計画・予算)																						
年間 トータル コスト	事業 内訳	財源		千円																																
		国庫支出金		千円																																
		県支出金		千円																																
		地方債		千円		114,300		110,700		110,700																										
		その他		千円				34,578		24,066		8,000		8,000		8,000																				
		一般財源		千円		177,605		158,267		195,578		325,000		325,000		325,000																				
	事業費計 (A)		千円		291,905		303,545		330,344		333,000		333,000		333,000																					
人件費	所要人員 (年間)		人		0.100		0.100		0.100		0.100		0.100		0.100																					
	人件費概算 (B)		千円		570		570		570		570		570		570																					
(A) + (B)		千円		292,475		304,115		330,914		333,570		333,570		333,570																						
(2) 事業概要																																				
事業目的		円滑な廃棄物管理を実施し、市民が健康で快適な衛生的環境の中で生活できるようにする。																																		
事業内容		市民により分別された資源物を、市が委託する収集業者が回収し、中間処理施設にて品目ごとに梱包し、再資源及び再商品化業者に搬送する。この際、有価物については売却する。																																		
開始経緯		平成11年ごみの13品目の分別を開始し、平成12年容器包装リサイクル法の施行により、19品目のごみの分別収集を開始した。																																		
実施状況		志布志モデルとして確立された分別収集体制に基づき、資源ごみ、一般ごみ、生ごみ、粗大ごみ等の収集運搬及び中間処理に係る業務を市内各事業者等に委託し、円滑な収集、処理に努めた。																																		
成果		ごみ収集運搬業務 149,450,400円 資源ごみ中間処理業務 77,114,400円 RPF処理及びその他リサイクル処理業務 19,956,626円 生ごみ・草木 (堆肥化) 75,055,659円																																		
課題		地震等の大規模災害に伴う災害廃棄物の処理を適切かつ迅速に行うため、災害廃棄物処理計画を策定する必要がある。																																		

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		地域再エネ導入を計画的・段階的に進める戦略策定支援事業				担当課		市民環境課		(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
						担当係		環境政策係		活動指標 (実施状況)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
						予算科目		会計	款	項	目	備考							
まちづくりプラン (基本目標)		振興計画体系 2 <生活環境> 自然や風土と共生する安心で豊かなまち				1		4	1	4									
(個別目標)		4 自然にやさしいエネルギーを推進するまち				主な費目		委託料											
(施策)		2 省エネルギー活動の推進				対象		市民		成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
事業期間		令和 4 年度～ 年度 (年間)								ア									
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度											
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)											
年間 トータル コスト	事業内訳	国庫支出金	千円			9,260	8,621												
		県支出金	千円																
		地方債	千円																
		その他	千円																
		一般財源	千円				2,874												
	事業費計 (A)	千円	0	0	9,260	11,495	0	0											
	人件費	所要人員 (年間)	人			0.025	0.025												
	人件費概算 (B)	千円	0	0	143	143	0	0											
	(A) + (B)	千円	0	0	9,403	11,638	0	0											
(2) 事業概要																			
事業目的	2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、二酸化炭素削減目標を見据えての、公共施設等への太陽光発電設備等の導入調査																		
事業内容	2050年カーボンニュートラルを見据えて、公共施設等への太陽光発電設備等の導入調査																		
開始経緯	公共施設等への太陽光発電設備等の導入調査を行うことで、適切な太陽光発電設備が導入でき、温室効果ガスの排出量を削減できる																		
実施状況																			
成果	○ 拡充 現状維持 改善 効率化 廃止終了																		
課題																			
	(4) 評価																		
	所管課による評価																		
	有効性評価 ・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性																		
	2050年カーボンニュートラルに向けた取組みの推進が図られる。																		
	効率性評価 ・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携																		
	二酸化炭素排出量の削減に繋がる。																		
	達成度評価 ・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢・環境の変化 ・事業期間																		
	改革改善案																		

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		担当課 市民環境課 担当係 環境政策係					(3) 指標の推移															
							活動指標 (実施状況)		単位	2年度 (目標) (実績)	3年度 (目標) (実績)	4年度 (目標)	5年度 (目標)	6年度 (目標)	7年度 (目標)							
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画体系 2	<生活環境>自然や風土と共生する安心で豊かなまち					予算科目		会計	款	項	目	備考	ア								
(個別目標)	3	ものを大切にし、自然環境にやさしいまち					主な費目		委託料					イ								
(施策)	6	生物多様性の保全					対象		市民					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
事業期間		令和 4 年度～ 年度 (年間)													ア							
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)														
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円			160	150															
		県支出金	千円																			
		地方債	千円																			
		その他	千円			2,139																
		一般財源	千円			1	2,602	2,750	2,750													
	事業費計 (A)	千円	0	0	2,300	2,752	2,750	2,750														
	人件費	所要人員 (年間)	人			0.025	0.025	0.025	0.025													
	人件費概算 (B)	千円	0	0	143	143	143	143														
	(A) + (B)	千円	0	0	2,443	2,895	2,893	2,893														
(2) 事業概要													(4) 評価		所管課による評価							
事業目的	市民の生物多様性の保全と持続可能な利用についての意識向上を図る。											有効性評価	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズ 事業の効果 政策との整合性 事業を廃止の影響 類似事業との連携 公平性 									
事業内容	生物の多様性の保全と持続可能な利用に繋げるために、市民・事業者・各種団体・行政機関が連携・協働しながら取り組みを行って行く。												効率性評価	<ul style="list-style-type: none"> 事業効果向上 事業費削減 事務の効率化 費用対効果 財政負担の必要性 関係者との連携 								
開始経緯	生物多様性の保全と持続可能な利用の認識向上につなげていくためのきっかけづくりとしての、生物多様性の恵みとふれあう自然体験や環境学習の機会を提供することにより、意識向上に繋がる。													達成度評価	<ul style="list-style-type: none"> 数値目標 目指す状況 実現性 情勢・環境の変化 事業期間 							
実施状況												改革改善案	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 効率化 <input type="radio"/> 廃止終了									
成果																						
課題																						

